

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 （該当に）

日 時： 令和 7 年 10 月 23 日 10 時 00 分～10 時 45 分

場 所： 小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

委 員： 4 人

利用者代表	0 人	知見を有する者	2 人
利用者家族	1 人	大田市職員	1 人
地域住民の代表	0 人		
事業所職員 (職名：しおさい施設長・管理者)			2 人

1. 報告事項：

(1) 利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

(小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える)

a) 登録者数及び男女比

	8 月	9 月
登録数 (月末時点)	28 名	27 名
男性：女性	9:19	8:19

b) 地域

	8 月	9 月
仁摩町	18 名	17 名
温泉津	6 名	6 名
大森町	1 名	1 名
五十猛町	1 名	1 名
水上町	1 名	1 名
大田町	1 名	1 名

c) 要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	変更申請
8 月	0	2	12	10	2	1	1	0
9 月	0	2	12	9	2	1	1	0

d) 年齢構成

	65 歳未満	65 歳以上	75 歳以上	85 歳以上	95 歳以上	平均年齢
		75 歳未満	85 歳未満	95 歳未満		
8 月	0	0	7	14	7	88.8 歳
9 月	0	0	7	13	7	88.94 歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 月当たりの平均サービス提供回数

	8 月	9 月
通いのべ人数/月 (平均)	386 人 (12.4 人/日)	377 人 (13 人/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	167 人 (5.3 人/日)	159 人 (5.5 人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	541 回 (17.4 回/日)	541 回 (16.7 回/日)
のべサービス 提供回数/月	1094 回	1077 回
のべ利用日数/月	868 日	833 日
登録者一人当たり の平均利用回数	一人当たり 6.6 回/週	一人当たり 6.4 回/週

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

長期宿泊の方 8月1名、9月1名。週平均4回以下の過少サービス状態の方が8月3名・9月3名おられました。長期宿泊、過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

c) 新型コロナウイルス感染症対策

項目	内容
通い	○ 通常対応中 検温、風邪症状の有無などの健康チェックは引き続き行っている。 ホールテーブルにアクリルパネル設置。 県外行き来されるご家族には自己チェックお願いしている。
泊り	○ 通常対応中
訪問	○ 通常対応中
面会制限	○ 体調確認して頂き、面会室を利用している
人員体制	○ 現在職員 16 名。欠員なし
職員の対応	○ 手洗いなどの標準予防策
業者の入館	○ 玄関対応可能な業者は玄関対応 その他業者は玄関で体温測定後に消毒、マスク着用してもらい入館
備品の状況	○ マスク・消毒液・プラスチック手袋 → 備蓄あり ○ 予防衣・フェイスシールド → 備蓄あり

(3) しつらえ・環境作り

①室温・換気・湿度

適宜窓を開放し、外気温に合わせて開放量調整。

②感染症予防のための取組み（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

毎日の管理 : 換気・手すり等消毒 (2回)

空間洗浄機（次亜塩素酸水）の終日稼働

週2回の管理 : 次亜塩素酸ナトリウムを使用した床拭き

③設備・機器の整備

特になし。

④過ごしやすい空間作りの取組

8月1日	リビング壁面
9月1日	リビング壁面

(4) 地域と職員のかかわり

①参加行事

・9月19日 地域食堂まんまんちゃん参加 利用者1名 職員1名

②実習受入れ

なし

③民生委員・関係機関等との連携

利用者についての情報交換行った。

(5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

①利用者個別の地域行事参加支援

・地域食堂参加

・

②利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

・敬老会

③通院支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	7名
処方薬の受領、支払い代行	4名

④町内買い物代行

5名を継続支援中です。

⑤町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じて6名からお預りし、支払いを代行しました。

購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

9月に災害の机上訓練を行いました。

(7) 質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

8月22日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
9月26日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

会議にて各利用者の支援見直しを行っていました。

・認知症介護実践者研修 1名受講

介護事故の発生状況

なし

(8) 人権・プライバシーの保護

①身体拘束の有無

実施の必要性なし。

① 虐待防止活動

なし

② 苦情相談

苦情相談なし

意見・アドバイス

○施設長

→負担割合が2割になった方はどんな理由か。

お店を経営しておられるので、報酬面での変更があったのかもしれない。

→ボランティアが来るとのことだが、どんな団体か。

益田から大田までの団体員が色々なパフォーマンスをしてくれると聞いている。

○委員

→家族が帰省するという利用者が2名おられるが、何名で帰っておられるか。

一人は3人の子どもさんが交代で帰省して支援しておられる。

一人は2人の子どもさんが交代で帰省して支援しておられる。

→しお祭には参加されたか。

職員2名・利用者2名で参加した。個人的に利用者一人参加されていた。

○大田市職員

→支援2の利用者が過小サービスとなっているが、一般のデイサービスを利用したほうがいいのでは。

以前は介護4でおられたが、更新で支援2となられた。奥様との二人暮らしで、在宅酸素も使用している。急な泊りサービス利用もあるのでほほえみ利用の希望がある。

→インフルエンザが流行期に入っている。後期高齢者なら1500円で予防接種ができる。今後も標準予防策を実施して欲しい。

→生涯現役証の紹介。パンフレット参照。

○家族代表

→たたみものなどを利用者にやってもらって欲しい。